

2016年8月2日

欧州初 三菱化学のバイオエンプラ「DURABIO®(デュラビオ®)」が
ルノーの新型「Clio」のメーターカバーに採用

三菱化学株式会社



DURABIO®が採用されたメーターカバー



新型「Clio」

<画像提供: Renault >

三菱化学株式会社(本社:東京都千代田区、社長:石塚博昭、以下「当社」)のバイオエンジニアリングプラスチック「DURABIO®」が、フランスの大手自動車メーカーである Renault(以下「ルノー」)から 2016年6月6日に発売された新型「Clio」[※]のメーターカバーに採用されました。DURABIO®が欧州車の部品に採用されたのは今回が初めてとなります。

当社が開発した DURABIO®は、再生可能な植物由来原料であるイソソルバイドを使用したバイオエンプラであり、耐衝撃性・耐熱性・耐候性などにおいて、従来の一般的なエンプラに勝る、優れた性能を有しています。また、発色性が良く、顔料を配合するだけで、つややかな光沢のある表面を作ることができる上に、表面が硬くて丈夫なので、擦り傷が付きにくいという特長もあります。そのため、塗装工程が不要になります。

このたびのルノーでの採用は、DURABIO®が高い意匠性を発揮する高性能な素材であり、高漆黒の部品を製造するうえで従来必要であった塗装工程を省くことができコスト削減が実現されたことによります。当社はこの採用を契機として、欧州での DURABIO®の事業展開を強化していきます。

今後も当社は高機能製品の研究開発を行い、環境にやさしく付加価値の高いクルマづくりに貢献してまいります。

※ 日本名は「LUTECIA(ルーテシア)」

以上

本件に関するお問合せ先
(株)三菱ケミカルホールディングス 広報・IR 室
電話: 03-6748-7140